

取組事例 馬を“架け橋”とした「関係人口」の創出

(標茶町)

標茶町では「乗馬ファンが何度も訪れたいくなる地域づくり」と「馬を媒介としたユニークなふるさと納税の枠組みづくり」を進めており、馬を“架け橋”に標茶町の「関係人口」創出に取り組んでいる。

関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R3)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
・馬と共に暮らせる町標茶事業 クラウドファンディング達成率 ・ふるさと寄附記念品贈呈事業 満足度	0%	97.1%	80%	121.4%

取組の推進体制

民間事業者による「道東ホースタウン推進協議会」と標茶町による官民連携事業として、【道東ホースタウンプロジェクト】を実施。

ホーストレッキングや引退乗用場の飼育預託等を通して関係人口の創出に取り組んでいる。

取組と成果

○町の主な取組

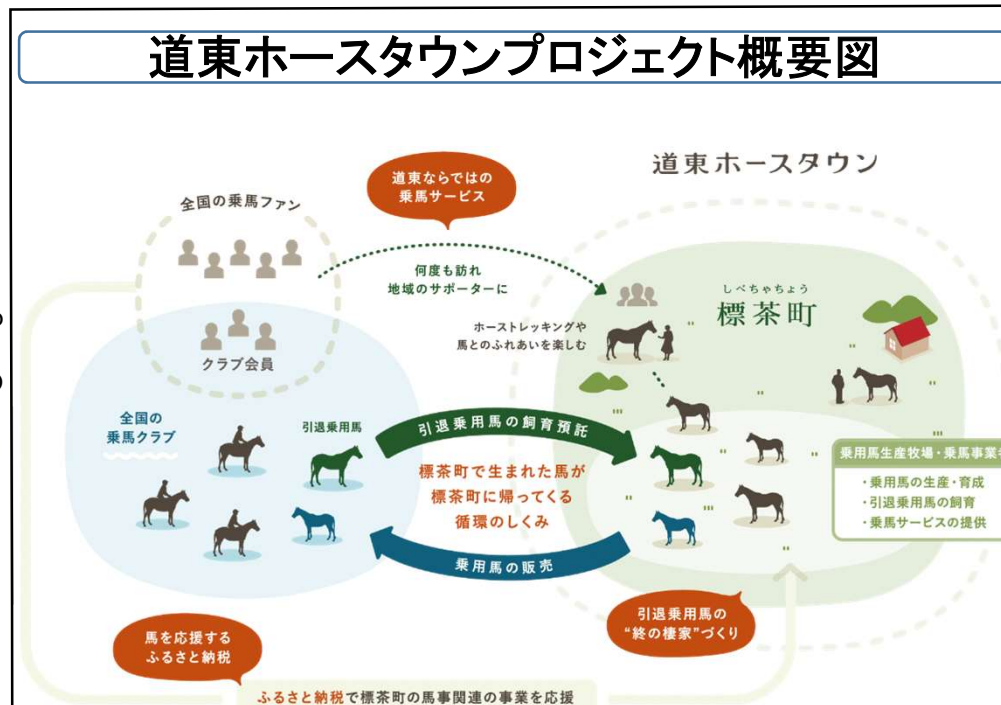
- ・ふるさと納税制度を活用したプロジェクトの支援
- ・協議会と連携したホーストレッキングプログラムの開発やポータルサイト、専門誌を活用した広報活動

○主な成果

クラウドファンディング達成率100%、寄附記念品事業満足度94.2%達成。

全国の乗馬ファンの訪問や寄附、引退乗用馬の預託が広がっており、関係人口の創出に繋がっている。

道東ホースタウンプロジェクト概要図



馬預かり事業



全国の乗馬クラブ等で現役を引退した乗用馬が標茶町の豊かな自然の中でのんびりと余生を過ごせるように、受け入れのためのしくみや快適な飼育環境づくりを推進している。また、標茶町がふるさと納税を活用しながら支援していくことで、引退馬を預ける乗馬クラブ等の負担も軽減されるようしくみづくりも目指している。

ホーストレッキング事業



さまざまな乗馬サービスを提供しており、2017年度からは、民間事業者と標茶町が連携したホーストレッキングプログラム開発もスタート。

2022年には本プロジェクトが実施したトレッキングプログラムが、北海道開発局が主催し1級河川に関する観光情報を表彰する「かわたびほっかいどう」優秀賞を受賞。